

2022年1月7日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

## 東京大学との共同研究における産学連携について ～企業間のつながりがもたらす“隠れた価値”の発見～

山口フィナンシャルグループ(代表取締役社長グループCEO 椋梨 敬介)は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、国立大学法人東京大学大学院工学系研究科森川・成末研究室(研究科長 染谷 隆夫)と、地域経済の発展を目指し、企業間取引ネットワークを活用した産学共同研究を開始しますので、下記の通りお知らせします。

### 記

#### 1. 共同研究の概要

山口フィナンシャルグループの保有するデータと東京大学大学院工学系研究科森川・成末研究室の情報システムにおける学術的知見により、地域経済を構成する企業間取引ネットワークについて研究を行います。隠れた企業価値や潜在的な取引ニーズを明らかにし、企業の成長機会や地域経済の価値向上について考察します。

さらには、本共同研究を発端に地域企業の皆さまへ、課題解決につながる関係構築やイノベーション創出のご支援等、より価値の高いソリューションサービスの提供に取り組んでまいります。

#### 2. 背景

従来、金融機関においては企業の財務諸表等の伝統的データが与信審査等に利用されていますが、情報技術の発展とともに、①大量 (high-volume) ②高速 (high-velocity) ③多様性 (high-variety) という3つの特性をもつビッグデータの活用が可能となり、金融機関が保有する入出金情報やテキストデータ等のオルタナティブデータに注目が集まっています。

活用の一環としてAIを利用した与信審査の高度化が取り組まれる中、かつてのリーマン・ショックに端を発する経済ショックは与信モデルのパフォーマンスに悪影響を与えたという結果が報告されています。その要因の一つとして、与信を企業単体で見て、企業間取引ネットワークとして把握していないことがあげられています。

本研究においては、物理学、化学などで活用されているネットワーク科学や、AIの一つの技術手法であるディープラーニング(深層学習)を通じた企業間取引ネットワークの解析に取り組んでまいります。

3. 東京大学大学院工学系研究科 森川・成末研究室について

(1) 教員

森川 博之教授

成末 義哲講師

(2) 研究内容

次世代無線通信システム／無線電力伝送／サイバーフィジカルシステム／

デジタルトランスフォーメーション／情報社会デザイン

などに関する研究

(3) URL

<https://www.mlab.t.u-tokyo.ac.jp/>

4. その他

今後も、山口フィナンシャルグループでは地域価値向上を目指して、地域のデジタルトランスフォーメーションに寄与する取り組みを実施してまいります。

5. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべき ESG 課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12 のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。

 <p>地域社会・ 経済活性化への 取り組み</p>	<p>①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上</p>	 <p>環境保全への 取り組み</p>	<p>⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発</p>
 <p>従業員全員の 働きがいへの 取り組み</p>	<p>⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&amp;インクルージョン)</p>	 <p>強固な 経営基盤づくり への取り組み</p>	<p>⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任</p>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ DX戦略部  
担当：前田 TEL：083-223-7127